



形無しと型破れ

碁や将棋には「定石」というものがある。我流でやっても良いが、それではなかなか上達していかない。

また、日本古来からの柔道や剣道、書道や華道、茶道などにしても「形」とか「型」というものがある。「形」や「型」を学ばずして上達は望めない。

スポーツにおいてもこれは同様である。

また、これはビジネスや経営の世界についても同じことが言える。ビジネスや経営の世界についても「定石」や「形」があるのである。その「定石」や「形」を学ばずして、「定石」や「形」に無いことをやるのを「形無し」と言うのである。「形無し」とは、散々なこと、面目を失うことを意味する。また、形跡が残らないという意味もある。

一方、「定石」や「形」を知った上で、「定石」や「形」に無いことにチャレンジしていくことを「型破れ」と言っています。

現在のビジネス社会や経営の世界では「型破れ」の人材が求められていると言える！！決して形無しになってはいけない。

——以上